

日本証券アナリスト協会、ABC資格の合格者1万人超える CMA試験は99会場に拡大

2026年10月2日 19:41 無料会員

📄 保存する



日本証券アナリスト協会は10月2日、金融資産運用に特化する形の認定試験「資産形成コンサルタント（ABC）」の合格者が1万人を超えたと発表した。9月末時点での合格者は1万907人。試験開始は2024年3月で、2年半程度で合格者が1万人を超えたことになり、金融関連資格では異例の人気資格になっている。

いわゆるファイナンシャルプランナー（FP）資格の中級レベルでは、金融資産運用のほか、ライフプランニングや不動産、相続・事業承継など6分野の学習が必要。他方で、ABC資格は金融資産運用に特化しているため範囲は狭いが、その中でもポートフォリオ理論など高度な内容を含むのが特色。また、「顧客本位の営業の心構えと枠組み」や「資産運用市場の基礎」、職業倫理に関するテーマも扱っている。

26年度上期の受験者数は前年同期比3.8倍の6047人で累計1万5176人になった。累計合格率は約7割。全国約350のコンピュータ（CBT）試験会場で毎日受験できる。受験者は20代と30代で55%を占めるが、40代と50代も38%いる。勤務先は、証券会社40%、地域銀行18%、保険会社16%の順。ほぼ全ての地域銀から受験があり、1000人超の組織的受験もあった。

同協会は「顧客の金融知識が上がっており、FP2級レベルだと簡単過ぎるとの声があった。この資格はポートフォリオ理論までカバーしているが、資産形成に特化しているので幅広過ぎず効率がいいと思われるのではないかと分析する。

また、同協会では、証券アナリスト（CMA）資格試験を行っているが、26年秋試験より、1次試験にCBT方式を採用。26年秋試験は、CBTが国内98会場、従前と同じ筆記方式が東京1会場となり、これまでの国内9会場から利便性を拡充させた。

ニッキン ONLINE 2026年10月2日